

# 全地連「技術フォーラム'99」松山大会現地見学会報告

## 研修委員会

大会の最終日、9月18日に「しまなみ海道3橋めぐり」の見学会が行われた。「しまなみ海道（西瀬戸自動車道）」は、先に供用されている神戸淡路鳴門自動車道、瀬戸中央自動車道に次いで、今年5月に開通した本州と四国をつなぐ3番目の海の道で、広島県尾道市と四国の愛媛県今治市の間を10本の橋でつないでいる。島内陸上部に一部未整備区間もあるが多くの観光客が訪れ、様々なイベントも開催されている。

見学会は最先端技術を駆使して完成した橋と道路を見学するのが目的である。全国から38名、東北からは4名が参加した。

見学コースは、A、B2つのコースからなり、東北から参加したメンバーはAコースを選んだ。

Aコース：松山市→来島海峡SA→来島海峡大橋、伯方・大島大橋、大三島橋を通過→3橋めぐり遊覧→大山祇神社→松山市（解散）

（Bコースは、大山祇神社→尾道市（解散）となるコース）。

### 1. 来島海峡大橋

6つの主塔からなる世界初の三連吊り橋で、来島海峡第一大橋～来島海峡第三大橋の3つの橋で構成されている。3橋の総長は4km強で、単独の吊り橋としては神戸淡路鳴門自動車道の明石海峡大橋が中央支間長1,991mと世界最長であるが、しまなみ海道では来島海峡第三大橋が1,030mで最も長い。桁断面は扁平六角形断面の箱桁を採用している。

来島海峡SAからのこの三連吊り橋の景観がすばらしく多くの観光客でにぎわっている。SAには来島海峡の説明パネルや来島海峡第三大橋のケーブルが展示されている。説明によると、ケーブルは長さ1,703mで、直径5mmの素線を約13,000本束ねて直径約64cmのケーブルを作っている。

来島海峡大橋は今治市と大島を結び、橋の完成によりいつでも誰でも往来が可能となったが、かつては海賊が徘徊し海流の流れが速く渦潮のある海の難所であったようである。渦潮が見えるかと思ったが、残念ながら小さな渦らしき物しかわからなかった。

### 2. 伯方・大島大橋

大島と伯方島を結ぶ2つの橋で、バスであつという間に通過してしまい、1つの橋のような錯覚を覚えた。

大島大橋は橋長840m、中央支間長560mの箱桁形式の吊り橋である。

伯方橋は鋼製桁橋で橋長325m、中央支間長145mである。

大島は、村上水軍ゆかりの地として有名ばかりではなく、大島石（花崗岩）の産地で国会議事堂の石材を供給している。ちなみに大阪城の石垣には小豆島の花崗岩が使われているそうである。

### 3. 大三島橋

橋長328m、中央支間長297mの本州四国連絡橋唯一のアーチ橋である。大三島と伯方島を結ぶ橋で、



昭和54年に一連の本四連絡橋群の中では最も早く完成した。

#### 4. 多々良大橋

広島県生口島いくちしまと愛媛県の大三島おおみしまを結ぶ橋長1,480m、中央支間長890mの世界最長の斜張橋である。逆台形断面の箱桁方式（鋼桁とPC桁の複合構造）で、塔頂の高さは海面から約226mあり、しまなみ海道の中では最も高い。

吊り橋は優雅で美しいが、斜張橋は圧倒するような力強い主塔とワイヤーが作る繊細なコントラストが吊り橋以上のすばらしい美しさを形作っている。

#### 5. 3橋めぐり遊覧

大三島の井口港から斜張橋の多々良大橋、アーチ橋の大三島橋をくぐり抜け、伯方・大島大橋を海上に望んで井口港へ戻る約30分の遊覧である。波も穏やかで日中30度以上ととても暑かったので海上はすがすがしくさわやかなクルージングであった。

海上から見る橋は圧倒するような力強さを示し、雄大さと繊細さを兼ね備えた橋の魅力を存分に見せつけている。

多々良大橋を通過する際には、橋を歩いて渡る観光客の顔が見えるようで、人々が手を振ってくれた。橋の下を通る私達参加者も手を振って答え、ちょっとノスタルジックな懐かしいような共感を覚えた。

#### 6. 大山祇神社

天照大神の兄神である大山積大神を御祭神とする、全国にある大山祇神社・三島神社の総本山と言う事である。わが国建国の大神と言う事なので、最近多い地震を鎮めてほしくお参りに来たのでしょうか。良く管理された広大な敷地に楠の巨木があり、萱葺きの社はなんとも言えない荘厳な趣きをかもし出している。

#### 7. 有料橋と地域の共生

しまなみ海道を通る橋は全て歩道がついており、徒歩または自転車で通行可能である。本州から四国まで自転車で通過する人や、観光の記念に世界最長の斜張橋をゆっくりと渡るなどさまざまな思いで夢を形にしているようである。自動車や列車だけでなく、人が通れる橋と言うのは良いものである。私達が見学した翌日（9月19日）には広島県の尾道市役所をスタートし、今治市糸山公園をゴールとする総延長100kmのしまなみ海道スーパーマラソンが開催されたようである。

以上の見学を終え帰路につきましたが、快いガイドさんの説明を聞いているうちに疲れも出て、目を空けたときには松山に着いていました。最後に車内にて全地連事務局の池田さんより挨拶があり、参加者一同は四国協会関係者の労をねぎらい解散した。



(瀬戸内海フェリーの会津員) 瀬戸内海島来





「しまなみ海道」の案内板



来島海峡SAより望む来島海峡大橋

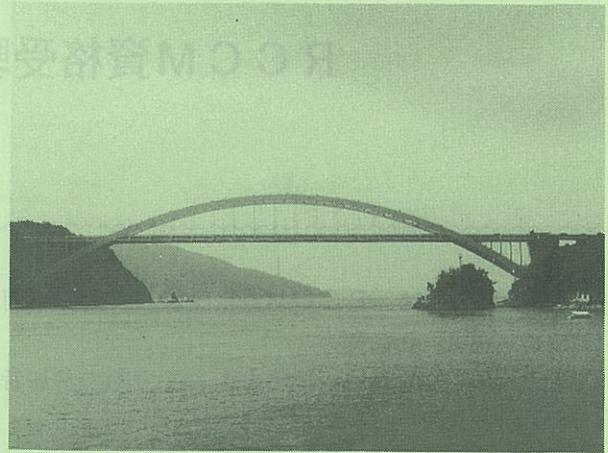


来島海峡大橋（見学会のバスから撮影）





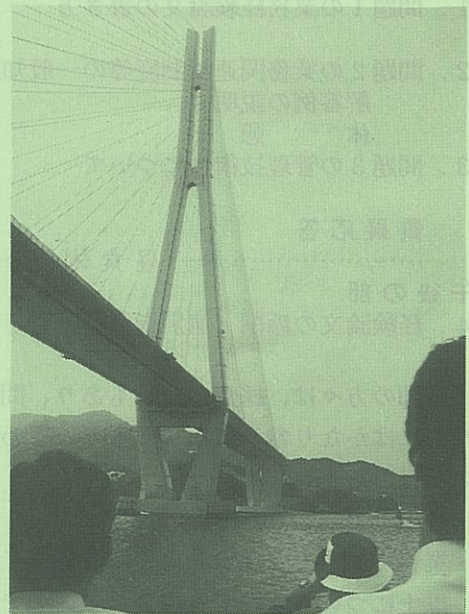
来島海峡SAにある来島海峡第三大橋のケーブル



大三島橋（橋長328m、中央支間長297m）



多々良大橋（橋長1,480m、中央支間長890m）



多々良大橋の主塔



「3橋めぐり」の遊覧を待つ参加者



大山祇神社のスナッフ